物流、生活に“三方良し”
宮崎県えびの市

宮崎県えびの市は県最西部にあり、南九州の中央部に位置する自治体だ。えびの高原や霧島連山を擁し、ふもとに広がる平地では畜産や稲作が盛んに営まれている。熊本、鹿児島の両県と接するほか、高速道路網の利便性から交通の要衝と位置づけられてきた。この地の利から、企業が物流拠点を設ける動きが加速している。さらに市では、半導体を含む産業のサプライチェーン（供給網）を支えるべく、企業誘致を積極化している。

南九州の要衝 立地相次ぐ

9月に実施したwelzoとの企業立地協定調印式

えびの市は逆三角形のような形をし、北側で熊本県、南西側で鹿児島県と接する。九州自動車道が南北に走り、えびのジャンクションを通じて宮崎道が東に分岐する。九州道・えびのインターチェンジ（IC）を通じた福岡・熊本、鹿児島、宮崎市内の3方面へのアクセス利便性が高い。

これまでも物流企業やメーカーが拠点を置いてきたが、市は企業誘致の促進に向けて「えびのインター産業団地」の造成を決め、2021年に分譲を始めた。えびのICから約500㍍の好立地も奏功し、分譲面積11万3700平方㍍のうち約5割が分譲済みとなっている。

福岡・熊本/鹿児島/宮崎市内 3方面にアクセス至便

南九州のアクセス性を評価した企業の進出が堅調に進む。24年に物流企業のマルゼングループ協同組合（福岡県久留米市）が物流センターを団地内に開設。医療機器商社のキシヤ（福岡市東区）、農業・園芸用品商社のwelzo（同博多区）がテナントとして入居した。

「物流の2024年問題」を背景とする労働時間の上限規制などの中で、進出企業の経営者は「即日・翌日配送のため、えびのは絶対的に必要な地域」と強調する。

同団地はマルゼングループ系が追加で2区画（計約1万6200平方㍍）を取得するなど需要は高い。市は九州で再集積が進む半導体関連についても誘致を呼びかける。隣接地への団地拡張について地権者に説明済みで大型案件に対応する準備も整っている。

市内には複数の自動車、電子機器の関連サプライヤーも製造拠点を構える。コカ・コーラボトラーズジャパンえびの工場も長く操業しており、水の豊富さは折り紙付きだ。

労働力確保では、助成金として1人最大40万円を従業員に直接給付する。近隣6市町を含めると労働力人口は約7万人で、アクセスの良さは通勤にも追い風になる。

立地企業への助成金でも最大1000万円の雇用促進助成金のほか、用地取得や工場建設にかかる市独自の優遇制度を設けた。テナント型物流施設を設ける事業者にも優遇制度がある。

さらに宮崎県としても九州で最高額となる限度額50億円の立地促進補助金を用意している。

用地 設備 人材に補助も

進出企業の人材マッチングも支援する（就職説明会）

村岡市長に聞く 「多様な働く場つくりたい」

村岡隆明えびの市長

村岡隆明えびの市長は連産業の再集積が進んでいます。

に企業誘致に対する思いを聞いた。

―物流に関連した企業進出が続きます。

「これまでの誘致の成果に加えて『物流の2024年問題』が後押しになっています。進出企業に対しては、人材採用を含めて期待に応えられていると自負します。用地も人も確保できる、というメッセージが広く伝わるとうれしいです」

―九州では半導体関はどうでしょうか。

「宮崎県として見ると南海トラフ巨大地震の懸念はあります。他方、えびの市は都城市とともに発災時の後方支援基地となる想定です。レジリエンス（復元力）は高いと考えます。また東九州道が全線開通すれば九州の高速道が環状につながり、アクセスの冗長性が高まります。この点からもBCP（事業継続計画）に資する土地だと言えるでしょう」

―交通だけでなく、えびのはユニークな魅力を持っています。

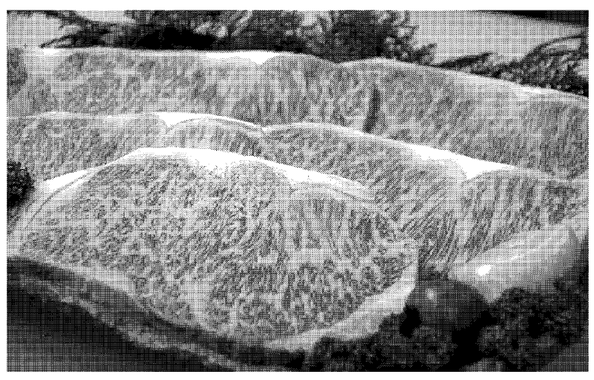
「雄大な自然と、その恩恵としての温泉や畜産、米といった、えびのにしかないものが多くあります。鹿児島、熊本の風土も融合した独自の文化が息づいています。長く住んでいる私からすると『なぜ住まないの』と思うほど、すばらしい地域だと実感します」

―進出を検討する企業にメッセージを。

「企業誘致としては土地を引き渡して一区切りですが、企業にとってはスタートです。末永く収益を上げてもらうことも市の大きな役割です。進出企業の飛躍を願い、立地後も支援をしていきます。えびの市に全国からぜひお越しください」

物流2024年問題が追い風に 半導体も視野

食、住、教育 豊富な魅力で 企業、移住者を歓迎


豊かな自然から育まれる良質な食材を楽しめる（宮崎牛）

えびの市は3方面に向けた交通アクセスが強みだが、「食」「住」「教育」という生活環境の面でも〝三方良し〟と言える。

食では日本一にたびたび輝く「宮崎牛」の産地として最高峰の牛肉を提供している。畜産王国・宮崎にあって、良質の豚肉や鶏肉、卵もそろう。「特A」の実績がある「えびの米」、豊富な水に育まれた野菜、本格焼酎が彩りを添える。

住環境については、新婚世帯の家賃や移住者の住宅取得、若者の定住促進などを支援する助成金を整備。移住者は増加傾向にあり、労働力を支える。

観光でも、日本初の国立公園の一角にある「えびの高原」をはじめ、雄大な自然を堪能でき、日々の疲れは京町温泉でいやせる。市内の県立飯野高校に対する支援もしており、全国から入学できる宮崎県内初の高校として、高い志を持った学生が集まっている。

30分で着くなど、市外に出かける際も便利だ。

子育て支援も手厚く、保育料や子どもの医療費、小中学生の給食費をいずれも無償化した。市立小学校は全クラスを30人学級とするなど、教育に力を入れる。市内の県立飯野高校に対する支援もしており、全国から入学できる宮崎県内初の高校として、高い志を持った学生が集まっている。

団地詳細 えびのICに近接した新たな産業団地を分譲しています。

分譲単価 12,000円/㎡（39,600円/坪）

概要			
事業主体	宮崎県えびの市	電力	高圧6,600V
面積	全体面積：17.3ha		特別高圧22,000V（R7.3月供給見込）
	分譲対象：11.37ha		
	分譲可能：6.09ha		特別高圧66,000V（電力会社へ要事前相談）
	分譲中／造成済		
対象業種	物流、製造、小売業等		えびの変電所まで1ｋｍ
用途地域	都市計画区域内（非線引き区域）	ガス	LPガス
		情報インフラ	光回線利用可
用水	えびの市上水道、地下水	分譲価格	12,000円／㎡（造成後価格）
排水	企業内処理→調整池→用排水路		用途取得費の助成制度あり

区画図

複数区画の同時取得申込も受け付けております。この他にも、市内の空き工場用地や未利用地に関する情報をご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

労働力

夏に開催した産業団地立地企業3社の就職説明会では、参加者が4日間で延べ200人超えを記録。

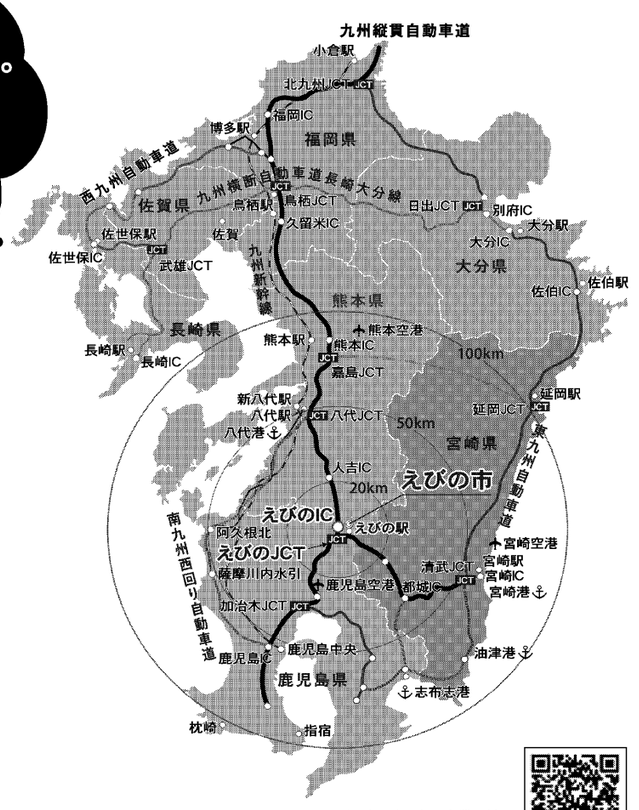
有効求人倍率 1.44（令和6年9月現在）

半径20km圏内の総人口・生産年齢人口（15～64歳の人口）

	総人口	生産年齢人口
えびの市	17,638	8,188
小林市	43,670	21,866
高原町	8,639	4,050
湧水町	9,119	4,201
伊佐市	24,453	11,490
人吉市	31,108	15,261
錦町	10,288	5,330
合計	144,915	70,386

令和2年国勢調査

えびの市は、南九州のド真ん中。最大の魅力は、優れた交通アクセス。



Access

高速道路利用での所要時間（えびのICから）

福岡IC …… 約2時間25分
熊本IC …… 約1時間20分
宮崎IC …… 約1時間
鹿児島IC …… 約50分

空港までの所要時間（えびのICから）

鹿児島空港 …… 約30分
宮崎空港 …… 約1時間
熊本空港 …… 約1時間20分

港までの所要時間（えびのICから）

八代港 …… 約1時間10分
宮崎港 …… 約1時間
志布志港 …… 約1時間30分

えびのインター産業団地の詳細はこちらから

宮崎県 えびの市 企業立地課 〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292番地
TEL 0984-35-3727 FAX 0984-35-0401

企業立地促進補助金（宮崎県・えびの市） 県の補助金と市の優遇制度は併用が可能です。非常に充実した内容となっていますので制度の詳細のついて、ぜひ一度お問い合わせください。